

令和4年度

## 教職課程

# 自己点検評価報告書

西南女学院大学  
西南女学院大学短期大学部

令和5年5月

## 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部 教職課程認定学部・学科一覧

### 西南女学院大学

- ・保健福祉学部（看護学科、福祉学科、栄養学科）
- ・人文学部（英語学科）

### 西南女学院大学短期大学部

- ・保育科

## 大学としての全体評価

西南女学院は、2022年に創立100周年を迎え、その傘下に中学校、高等学校、大学、短期大学部、短期大学部附属幼稚園を擁し、北九州を中心にキリスト教精神に基づいた女子教育を行ってきた。

大学には、保健福祉学部と人文学部の2学部、5学科と1別科を配し、短期大学部には保育科を設置している。大学・短期大学部がひとつのキャンパスにまとまって立地することから、学部学科を越えた学生の交流の場が生まれたような人材の育成が可能となっている。

教職課程は、保健福祉学部の3学科（看護学科、福祉学科、栄養学科）と人文学部の1学科（英語学科）、それに短期大学部保育科に設置され、それぞれの免許種にそった専門教育とキリスト教に基づく人間教育を行っている。その結果、多くの卒業生が教師として各種の学校で活躍している。

本学の教職課程は、複数の学部・学科の課程という特徴を持つことから、その運営は学科横断の教職課程委員会が主に担い、教務委員会などの諸部署と連携しながらより良い学修環境の整備に努めてきた。そこにみられる特徴及び課程運営の結果については、本報告書の中で述べているとおりである。

本学に入学してくる学生の中には、教職への強い意欲を持つものが多く、本学における教職課程は極めて重要である。これからも本学の特徴を活かした新しい時代にふさわしい教師を養成する所存である。

西南女学院大学  
西南女学院大学短期大学部

学長 浅野 嘉延

## 目次

I	教職課程の現況及び特色	1
II	基準領域ごとの教職課程自己点検評価	3
	基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な 取り組み	3
	基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援	9
	基準領域3 適切な教職課程カリキュラム	12
III	総合評価	16
IV	「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス	17
V	現況基礎データ一覧	18

## I 教職課程の現況及び特色

### 1 現況

- (1) 大学名：西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部  
 (2) 学部名：西南女学院大学 保健福祉学部・人文学部  
 西南女学院大学短期大学部 保育科  
 (3) 所在地：西南女学院大学 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5  
 西南女学院大学短期大学部 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-2  
 (4) 学生数及び教員数

西南女学院大学

(令和4年5月1日現在)

学部名	学科名	在籍学生数	教員数
保健福祉学部	看護学科	388	26
	福祉学科	318	18
	栄養学科	218	17
人文学部	英語学科	152	8
	観光文化学科	209	7

西南女学院大学短期大学部

(令和4年5月1日現在)

学科名	在籍学生数	教員数
保育科	107	13

### 2 特色

本学は大学に保健福祉学部、人文学部の2学部と助産別科、短期大学部に保育科を設置し、建学の精神のもとに「卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）」、「教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）」、「入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）」の三つの方針を定めている。保健福祉学部・人文学部・短期大学部では総合人間科学（短期大学部は一般教育科目）と専門教育科目、教職に関する科目、日本語教員養成に関する科目を開設し、学科ごとに科目間の関連性を表すカリキュラムツリー、科目とDPの関連性を表すカリキュラムマップ、科目の属性や修得レベルを表すナンバリングを策定している。

保健福祉学部看護学科は看護師国家試験受験資格を取得できるカリキュラムを中心とし、保健師又は高等学校一種免許状（看護）、養護教諭一種免許状のいずれかが取得できる科目を開設している。

保健福祉学部福祉学科は福祉・養護教諭コースと子ども家庭福祉コースで編成されて

いる。各コースとも社会福祉士国家試験受験資格を中心に、福祉・養護教諭コースでは精神保健福祉士もしくは養護教諭一種免許、子ども家庭福祉コースでは保育士資格が取得できるカリキュラムを開設している。

保健福祉学部栄養学科では栄養士・管理栄養士養成施設としてのカリキュラムを中心に、栄養教諭一種免許状が取得できる科目を開設している。

人文学部英語学科では英語 4 技能（聴く・話す・読む・書く）とコミュニケーション力を養成するカリキュラムを中心とし、日本語教員養成課程又は中学校一種免許状（英語）及び高等学校一種免許状（英語）の両方を同時に取得することができる科目を開設している。

短期大学部保育科は教員養成を主たる目的とした学科であり、カリキュラム全体を通して幼稚園教諭二種免許状、保育士資格の取得を目的と科目を開設している。

教員養成課程は保健福祉学部の看護学科、福祉学科（福祉・養護教諭コース）、栄養学科、人文学部の英語学科、短期大学部の保育科に設置している。保健福祉学部・人文学部では希望者のみ教職課程を履修し、教員免許状を取得することができる。教職に関する科目の多くは教職課程委員の教員が担当し、学科横断的に合同開講している。

以上からわかるように、本学教職課程は養護教諭、栄養教諭という校種横断的な免許課程が占める比重が大きいところに特徴がある。これらの課程では、学生に多くの実習科目が課されることになり、それだけ学生の負担も大きい。その中では、学生の意欲と努力に加えて小規模大学の特長を生かした関係教職員のきめ細やかな指導がなされている。

## II 基準領域ごとの教職課程自己点検評価

### 基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

#### 基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標の共有

##### 〔現状説明〕

本学では、キリスト教精神を教育の基盤とした「感恩奉仕」を建学の精神としている。大学では以下のように教職課程教育の理念に反映している。

##### ○西南女学院大学 教職課程の理念

西南女学院大学は、教育基本法及び学校教育法に則り、キリスト教精神を具現化した建学の精神である「感恩奉仕」を教育の基盤としています。「感恩奉仕」とは、神の恩寵の中に生かされていることへの感謝を意味する「感恩」と、隣人への愛を意味する「奉仕」により構成されます。この建学の精神は、人々の結びつきがより大きな課題となる現代社会を生きるための指針となるものです。西南女学院大学は、この精神の上にたって、広く知識を授け、深く専門の学芸を探求するとともに、豊かな人間性と社会的責任感を涵養し、もって人類の福祉と文化の発展に貢献する有為の人間人物を育成することを教育目的としています。

こうした教職課程教育の理念を踏まえて、以下の「目指す教師像」を提示している。

- ① 使命感・責任感・教育的愛情のある教師
- ② 高い専門性に基ついた判断力・指導力のある教師
- ③ 社会の変化や教育現場での問題に対応できる教師
- ④ 豊かな人間性と社会性を持ち、同僚・保護者・地域・各種機関と連携・協働ができる教師
- ⑤ 常に学び続けることができる教師

「教職課程の理念」及び「目指す教師像」、は、大学ウェブサイトで公開しているほか、「教職課程の手引き」として履修上の諸情報と共に明記している。この「教職課程の手引き」をもとに、新入生オリエンテーションや在学生のオリエンテーションを行い、周知徹底を図っている。

こうした教職課程教育に関しては、関係教職員による FD を定期的に行うことにより目的・目標の共有を図っており、また状況の変化への対応についても協議を重ねている。

また、教職課程委員会及び各学科での検討を踏まえたカリキュラムマップを作成しており、その中で DP との関連性を表記している。

短期大学部保育科は教員養成を主たる目的とした学科であるため、三つの方針は教員養成を目指したものとなっている。保育科の三つの方針は以下の通りである。

### 【卒業の認定に関する方針（ディプロマポリシー：DP）】

保育科の教育目的を達成するために設定された科目を履修して、定められた単位数を修得し、以下の要件を満たす者に短期大学士（保育学）の学位を授与します。

#### DP 1 【知識・理解】

- 1-1) キリスト教精神を基盤に、教養と知識を身につけている。
- 1-2) 保育者に必要な専門分野の学問知識を修得している。

#### DP 2 【思考・判断】

- 2-1) 個々の子どもを深くとらえ、保育としての適切な対応を考えることができる。

#### DP 3 【関心・意欲】

- 3-1) 子どものあそびや子ども文化などに興味をもつ。
- 3-2) 子どもや保護者を含めた現代的課題に関心をもち、保育者としての社会的な役割を意識する。

#### DP 4 【態度】

- 4-1) 保育者としての責任を自覚し、倫理に基づく行動ができる。
- 4-2) 自らの保育実践を振り返り、さらに質の高い保育を探求する力を有している。

#### DP 5 【技能・表現】

- 5-1) コミュニケーション能力やマナーを身につけ、他者と協働することができる。
- 5-2) 保育内容をふまえた基本的な表現技術を身につけている。
- 5-3) 子どもや保護者への適切なあそびや養護技術などを実施することができる。

### 【教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラムポリシー：CP）】

保育科は、以下のような教育課程を編成し実施します。

1. 保育科の教育課程は、保育の専門家を育成することを目的とし、短期大学士として必要な教養を身につける一般教育と保育者に必要な知識・技術を養うための専門教育で構成する。
2. 一般教育は、「キリスト教教育」、「初年次教育」、「女性と健康」、「基礎教養科目」、「アカデミックスキル」、「地域創生」、「キャリア形成支援」の科目群で構成する。「キリスト教教育」では、建学の精神の基本であるキリスト教を学び、学院の歴史および建学の精神である「感恩奉仕」を理解させることができる素養を身につける。「初年次教育」では、大学教育への移行が円滑に図られるための教育プログラムを実施する。「女性と健康」では、女子大学として女性と健康に焦点をあて、科目を構成する。「基礎教養」では、専門科目の導入である学問領域に触れ、幅広い教養を身につける。「アカデミックスキル」では、外国語の学習により異文化理解とコミュニケーションスキルの基盤を養い、IT活用能力を身につける。「地域創生」では、地域の現実的な課題を解決するために、必要な基本的姿勢と技術を

修得する。「キャリア形成支援」では、地域社会が求める自立した女性を目指すためのキャリア形成の基本を学び、学科のキャリア形成発展科目との連動により、実践的態度及び技術修得を目指す。

3. 専門教育は、「保育の本質・目的に関する科目」、「保育の対象の理解に関する科目」、「保育の内容・方法に関する科目」、「保育内容の理解と方法」および実習関連科目で構成する。「保育の本質・目的に関する科目」では、児童福祉や保育者としての本質に関する科目で構成している。「保育の対象の理解に関する科目」では、子どもの心身の発達に資する知識を身につける。「保育の内容・方法に関する科目」では、キリスト教保育を含めた保育内容について幅広い知識と実践を学ぶ。「保育内容の理解と方法」に関する科目では、子どもの表現を広くとらえながら遊びを促すことのできる保育内容とその方法について具体的に学ぶ。各科目群は、保育者に必要な知識・技術を養成するため、段階的に進行する。さらに、実習関連科目では保育者として必要な総合的な力を養成する。
4. 専門性を高め、職業選択の幅を広げるため、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格の取得に必要な科目の他、多様化する社会のニーズに対応するために必要な免許・資格に係る科目を配置している。

#### 【入学者の受入れに関する方針（アドミッションポリシー：AP）】

保育科は、以下のような学生の入学を期待しています。

1. 子どもに関連する分野に興味・関心をもつ人。  
【関心・意欲】
2. 基礎学力を備え、目的に向かって努力することができる人。  
【知識・理解】【態度】
3. 他者とかわり、共に活動しようとする人。  
【技能・表現】

上記の三つの方針をもとに、保育科における教職課程の意義および理念について、次のように定めている。

少子化や核家族化、女性の社会進出など幼児を取り巻く地域社会や家庭の変化に伴い、幼稚園教諭に求められる知識や能力、資質は大きく変化してきています。

幼児期は心身ともに、日々急速に成長する時期です。幼児は温かい雰囲気の中で周囲の環境に働きかけ、環境との相互作用を通じて主体的にあそぶことによって、自己を発揮することができます。その中で幼稚園教諭は子どもの思いを汲み取り、個々の特性に応じて関わることにより、子どもが持つ能力を最大限に引き出すことができるように援助していかなければなりません。また保護者とともに子どもの育ちを見つめ、他の保育者と協働して保育活動を展開させていく能力が必要になります。

保育科では、建学の精神である「感恩奉仕」を教育の基盤とし、キリスト教園をはじ

めとした幼稚園での実習を通して、幼稚園教諭として豊かな人間性と専門的力量を有し、子どもの発達・成長を支える実践を行うことができる人材を育成することを目指しています。短期大学の2年間では日々の学修の中で学生が主体的に学び、実習における保育実践を通して自己課題を見つけることにより、自らの子ども観や保育観を形成し、さらに幼稚園教諭としての資質を高めていくことが重要です。また、免許の取得のみにとどまらず常に子どもや保護者を含めた現代的課題に関心を持ち、学び続ける姿勢をもつことのできる有為な人材になって欲しいと願っています。

### 〔長所・特色〕

豊かな人間性の醸成の基本となるのがキリスト教精神である。そのために全学でキリスト教についての授業が必修とされるほか、「チャペルアワー」などの宗教行事が連続的に企画され、「感恩奉仕」の理念が学生の生きる指針となるように工夫されている。こうした教育を通じて、他者を理解し、他者へ奉仕することを学んだ教師を養成している。

また、各免許課程に関しては、それぞれの学科ごとに「教職課程の理念」を定めて「目指す教師像」を学生に示し、さらに必要な「専門教科についての知識・技術」に関する指針を別途定めて、具体的な目標を示している。

### 〔取り組み上の課題〕

昨今の子どもの成長・発達をめぐる社会状況や求められる資質や能力の変化に速やかに対応できるようなカリキュラムが求められている。例えば、養護教諭と栄養教諭については、子どもの貧困問題への対応が求められるであろうし、インクルーシブ教育についても新しい知見などが求められている。英語教員についても、求められる技能に変化がみられる。そうした社会状況の変化に、大学での研究を背景にした対応が求められている。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・教職課程の手引き
- ・キャンパスライフ
- ・カリキュラムマップ
- ・大学ウェブサイト

## 基準項目 1－2 教職課程に関する組織的工夫

### 〔現状説明〕

本学では、西南女学院大学保健福祉学部、人文学部、西南女学院大学短期大学部に設置している教職課程を統合的に運営するために、「教職課程委員会」を組織している。本委員会は、教務部長を構成委員としていることからわかるように教務委員会と連携して教職課程の円滑な運営を図っている。教職委員会での決定については、各教授会で必要に応じて

報告されている。

また、教職課程の履修手続き、教育実習・養護実習・栄養教育実習（以下「教育実習」と呼ぶ）や介護等体験、諸行政機関との折衝、採用試験対策などに関わる事務は教務課が担当している。また、教員採用に関わる情報の受付や学生の周知に関しては就職課が窓口となり、教職課程を担当する教員や就職委員と連携して学生の円滑な教員就職活動を支援している。

教員の配置については、2022年4月現在、教職に関する科目及び教科に関する科目担当として、大学では研究者教員13名、実務家教員4名、短期大学部では研究者教員7名、実務家教員1名が配置されており、教職課程認定基準を踏まえた適切な人員を配置している。これらの教員は、教職課程全体で行うオリエンテーションや、教育実習の事前事後指導などで学科をまたいで有機的に連携して学生の指導を行っている。

教職課程教育実施に際しては、大学・短期大学部ともに Google Classroom や無線 LAN を導入してデジタル化を行っている。また情報処理演習室も整備しており、学生の情報教育に資している。さらに大学では、模擬保健室や看護学実習室、アクティブラーニング教室などを整備しており、学生の実践的学習に役立てている。短期大学部では、音楽館や乳児保育室、絵本の部屋、モンテッソーリ教育に関する教具などを整備している。

教職課程の質的向上のために、授業評価アンケートとリフレクションカードを実施する一方、大学・短期大学部合同で教職課程 FD を実施している。また、事務担当者を中心に大学間の勉強会に参加している。

これまで述べてきた教職課程に関する実績などについては、大学ウェブサイトにて公開を行っている。また、『西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教職論集』を発行し、活動内容等の情報公開を行なっている。自己点検に関する検討も FD で行っており、結果については「論集」のなかで公開することを検討している。

### 〔長所・特色〕

本学では、医療・看護・福祉・心理・栄養・保育などに加えて英語・語学関係のスタッフが充実しており、子どもの発達・学習に関する研究・教育の機会に恵まれている。

保健福祉学部福祉学科では、「福祉・養護教諭コース」を設置し、福祉学科の特性を生かした養護教諭養成を行うことで、教育の現代的課題に対応できる力量形成を目指している。

また看護学科では、2年次前期を終えた段階で教職課程履修生の選抜を学科で行うこととし、その際の面接に学科長が出席し、選抜結果については学科会議、教授会で協議・報告することとしているなど、学科全体で教職課程の運営に関わる体制になっている。

加えて、教育実習に関しては、全実習校へ訪問指導を行うことを原則として学生の担当教員が実習校に赴いている。実習などで問題等が発生した場合は、教職課程全体で責任を負って対応することとしている。

短期大学部では、2年間を通して実習指導を実施しており、実習前には教材研究の発表を現職園長が指導する機会を設けている。また、年に一度、実習協力園との意見交換会を

開催し、実習における学生の状況把握に努めている。関連授業については教員同士で教授内容を共有し、科目の関連性を重視した教育を行っている。

#### 〔取り組み上の課題〕

各学科において定めている CP・DP と、学科横断で構成されている教職課程の CP・DP との間の整合性をどのようにとるのが課題となっている。免許種ごとに求める資質・能力に違いがあり、それを同じ科目の中でどのように CP・DP に反映させればよいか、検討しているところである。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・大学ウェブサイト
- ・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教職論集
- ・無線 LAN 「SweetSpot 利用可能エリア」

## 基準領域2 学生の確保・育成・キャリア支援

### 基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

#### 〔現状説明〕

西南女学院大学では、入学者受け入れの方針（アドミッションポリシー：AP）を大学ホームページで公開しており、そのAPを満たした学生を受け入れている。その中から、各学科の方針にしたがって希望する学生を受け入れている。APは大学ウェブサイトや募集要項だけでなく、キャンパスライフにも記載され、入学後も確認ができるようにしている。

短期大学部保育科では、教員養成を主たる目的とした学科であるため、教職課程を希望する学生はすべてAPを満たしている。

各学科では、カリキュラムポリシー等を設定しており、専門性の高いカリキュラムを実施している。そのうえで、教職課程履修のための条件や、実習履修のための要件などを定めている。

例えば、看護学科では、2年次前期終了時点で以下のような選抜の要件を定めている。

#### 1. 2年生前期までの成績評価

- ① 原則として、GPA3.0以上の成績を有すること
- ② 原則として、2年次前期までに開講されている看護課程および教職課程の全履修科目に「不可」科目がないこと。

#### 2. 面接試験評価

看護学科では、以上の要件を満たした者のみが教職課程の履修を継続できることとしており、学生はそれをめざして努力している。

人文学部英語学科では、「英語科教育法」の履修条件として、以下のことを定めている。

- ① 1年次に開校されている専門基礎科目9科目の成績が原則的にすべて「良」以上であること。
- ② 1年次終了時点で、「実用英語検定2級」の資格取得が望ましい。
- ③ 4年次に教員採用試験を受験することを強く推奨する。

短期大学部保育科においては、教員養成を主たる目的とした学科であるため、学科のCPにより教職を担うにふさわしい学生を養成できるよう、カリキュラムを制定している。教育実習についての要件も定めている。

教職課程履修者の数については、大学では希望する学生全員を受け入れてもDPを満たしていると考えられる。短期大学部保育科では、50人を上限としてクラス編成を行なっている。

大学では、「履修カルテ」については、教職課程の履修の進行に沿って作成し、最終的に4年次の教職実践演習において活用をしている。短期大学部保育科では、教職実践演習に加え、子ども学基礎演習・特別演習のゼミ科目でも活用し、学生の指導に役立てている。

#### 〔長所・特色〕

大学では、各学科がそれぞれのカリキュラムポリシー及び教職課程の位置づけにしたが

って、教職課程の履修及び教育実習の要件を定めている。そのために、真剣に教職を希望する学生が教育実習に行くことになっている。

短期大学部では、実習指導の授業全体を通して実習の心構えや教員としての責任感を身につけられるように全ての実習指導を履修することが実習履修要件となっている。実習後には、実習園からの評価を基に個別面談を実施し、学生の長所及び今後の課題を明確にする機会を設けている。

#### 〔取り組み上の課題〕

教職課程履修及び教育実習の要件を定めているために、その要件を満たせなかった学生のサポートが課題である。時に履修断念について充分納得できないままの学生がおり、学習意欲を維持する意味でも面談などを重ねて学生に寄り添った対応が必要となっている。

#### <根拠となる資料・データ等>

- ・キャンパスライフ
- ・教職課程の手引き
- ・シラバス

### 基準項目2-2 教職へのキャリア支援

#### 〔現状説明〕

4月に各学年段階のオリエンテーションを実施し、教職への意欲を高めかつ深めるように努めている。

教職を希望している学生については、全学的に共通して各学科において教職担当者を中心に適宜面談を行い、履修状況や意欲の確認を行っている。その中で、教職への意欲を減退・喪失した学生については、適宜指導を行っている。

専任教員による面談だけにとどまらず、外部講師として地域の現職あるいは退職の教員や園長、さらに卒業生による講話などを企画し、学校現場の雰囲気などを具体的にイメージさせるだけでなく、卒業生と接することによりめざす目標を視認することが教職への意欲を高めている。

3年次では、4年生で採用試験に合格した学生による報告会を実施し、目の前の先輩の経験から採用試験対策の具体策だけでなく、実習や採用試験に臨む姿勢など多くのことを学ぶ機会となっている。

採用試験に向けては、大学では、前述の合格者や卒業生による講話に加えて、外部講師による教員採用試験対策講座を春夏に実施している。短期大学部保育科では、学内外で行われる集団説明会への参加や、園長・卒業生による個別の就職説明会を実施している。また、就職を希望する園で自主実習や園見学などを行なっている。

### 〔長所・特色〕

地域で長く教員を養成してきたために多くの卒業生が近隣で活躍しているが、その人脈を大学・短大での教育に活かしている。

また、学生との頻繁な面談は特色の一つである。学生の悩みや抱えた困難を早期に発見し、必要なサポートに結びつけている。とりわけ、保健福祉学部は実習などの必修授業が多いため学生同士の交流が少ない中で、学生の教職課程履修の円滑な進行のためには必要な教育活動となっている。

### 〔取り組み上の課題〕

教員による面談が大きな役割を果たしていることは明らかではあるが、教員の負担となっていることも事実である。こうした授業外の教育活動は、結局教員の個人的なマンパワーに頼ることになるため、組織的な対応が必要である。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・外部講師一覧
- ・教員採用試験対策講座案内
- ・シラバス

## 基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム

### 基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

#### 〔現状説明〕

本学では、前述したようにキリスト教精神を教育の基盤とした「感恩奉仕」を建学の精神としているが、それらは教職課程教育の理念に反映している。

なお、大学においては教職課程の教職に関する科目などは卒業要件には含まれないので、キャップ制の対象外である。短期大学部保育科は、教員養成を主たる目的とした学科であるため、教職課程の科目も卒業要件に含まれており、上限を 52 単位と多く設定しているが、令和 5 年度入学生より 49 単位とし、単位の実質化への取り組みに努めることとしている。

教職課程カリキュラムについては、大学では、教育の基礎的理解に関する科目など、外国語（英語）についてはコアカリキュラムを制定している。また、学科ごとに教職課程の科目についてもカリキュラムマップを作成している。

短期大学部では、教員養成を主たる目的とした学科であるため、コアカリキュラムを制定している科目も含めてカリキュラムを制定している。

こうした教職課程カリキュラムの編成に際しては、大学・短大共に、北九州地区大学教育実習連絡協議会や福岡県教育委員会の説明会に参加するなどして意見交換を行い、学生の指導に反映している。

教職課程カリキュラムの中の ICT 機器の活用などの情報活用能力を育てる教育については、大学では 1 年次において ICT 科目を特設して対応している。独立した科目として、養護教諭や栄養教諭養成課程も必修としている。短期大学部では、保育・教職実践演習（幼稚園）や保育メディア演習の中で ICT の活用方法を学ぶ授業を行っている。

さらに教職に関する科目では、アクティブラーニングを積極的に取り入れている。例えば、教職概論、教育課程論、教育方法論においては、グループワークを数多く取り入れ、学生同士による討論などを経て学生自身が自らの考えを深められるように工夫している。また教職実践演習では、各自がめざす教師像をめぐるポスターセッションを行なっている。これらのアクティブラーニングを通して、異なる考えや意見との交流が持つ学習効果について経験的に学んでいる。短期大学部では、初年次教育や子ども文化（1 年次科目）の中でグループワークを行い、資料や保育教材の作成・発表を行っている。2 年次には様々な科目でグループワークやアクティブラーニングを実施している。

以上、取り上げた教職科目も含めて、大学・短大の全科目について、シラバス作成要領を作成し、すべての科目で学修内容や評価方法を明示している。

教育実習については、大学・短大ともに要件を設けている。大学保健福祉学部看護学科では、実習開始までに開講されている各免許状に必要な教科に関する科目及び教職に関する科目の単位を全て修得していることが求められている。同じく福祉学科でも、養護実習の履修のためには、3 年次後期までに開講されるすべての「養護に関する科目」及び「教

職に関する科目」の単位修得と、「看護臨床実習」及び「養護実習事前事後指導」などの履修が必要とされる。栄養学科では実習までに開講される「栄養に係る教育に関する科目」、「教職に関する科目」の単位習得が求められている。教員免許の基礎資格として管理栄養士国家試験受験資格が設定されているため、「臨地実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の修得が必要とされる。

人文学部英語学科でも実習要件として3年次後期までに開講される全ての教員免許取得に関する科目の単位習得を必要としている。

短期大学部保育科では教育実習を3回に分けて設定しており、それぞれの開講時期までに必要な科目を設定している。

これらの要件は教職課程のオリエンテーションやキャンパスライフ、面談等で周知を行っている。

### 〔長所・特色〕

前述したが、ICT科目を「教育におけるICT活用」という独立した科目として設定し、これからの教育現場における情報機器の活用へ対応できる能力をより高度に学べるようにしている。

### 〔取り組み上の課題〕

大学教育をめぐる様々な情勢の変化に即してカリキュラムが構成されなければならないが、教職課程もその影響を受けることは避けられない。とりわけ、保健福祉学部の3学科（看護学科、福祉学科、栄養学科）は、看護師、社会福祉士、管理栄養士などの資格取得のための実習科目などをはじめとした必修科目が多く、非常に窮屈なカリキュラムとなっている。教職課程は、それらの専門科目とは別に履修されるものであるために、いったん不合格となると再履修が厳しいなどの制約がある。専門教育と教職課程がともに学生の過重負担にならないように充実を図る必要があるが、困難を抱えた課題となっている。

### <根拠となる資料・データ等>

- ・キャンパスライフ
- ・大学ウェブサイト
- ・大学案内（パンフレット）
- ・教職課程の手引き
- ・シラバス、シラバス作成要領

## 基準項目 3-2 実践的指導力育成と地域との連携

### 〔現状説明〕

取得する教員免許状の特性に応じた実践的指導力を育成するために、キャリア支援の項

目でも触れたが、外部講師を積極的に活用して実践的な指導を行っている。

教職課程カリキュラムとしては、大学では3年次からさまざまな授業を使って模擬授業を行っている。4年次になってからは、事前事後指導において模擬授業を複数回実施し、教育実習に向けて準備するとともに教師としての基礎的な能力の育成を図っている。短期大学部では、教育実習を3回に分けて行い、それぞれの事前指導において模擬授業や教材発表の機会を設けている。

こうした正規の授業以外にも、教育委員会主催の講座（北九州市教育委員会「北九州市教師養成みらい塾出前講座」、山口県「教員を目指す学生の学校体験制度」）にも積極的に参加するよう促している。

また、こうした講座とは別に近隣の学校で各種のボランティアへの参加も促している。例えば、小学校における「CPR 講習指導ボランティア」や中高等学校における健康診断のボランティアなどにも、多数の学生が参加している。また福祉学科、英語学科などでは、学科関連のボランティアではあるが教育的内容を含むボランティアもあり、多様な活動に学生が参加して、多くの経験をしている。

短期大学部でも、自主実習として幼稚園等の現場を体験できる機会を設けている。

さらに教育委員会との連携についても、北九州地区大学教育実習連絡協議会に参加し、教育委員会や校長会とも連携を図っている。加えて、教職科目の専任教員が、北九州市教育委員会の「北九州市教員育成協議会」の委員を務めており、このつながりも一定の役割を果たすことが期待される。

実習校との連携については、大学では教育実習校には原則として指導教員が訪問指導を行い、情報共有などの連携を行なっている。短期大学部では、訪問指導だけではなく、教育実習校（園）を設定し、年に一回の意見交換会を実施している。

### 〔長所・特色〕

多様な外部講師と、北九州市、山口県、地域の学校との連携によって、大学での座学、あるいは学生相手の模擬授業では経験できない内容の学修ができるように工夫している。こうした学修の成果の一部については、『西南上学院大学・西南女学院大学短期大学教職論集』に掲載し、学修経験の共有に供している。

### 〔取り組み上の課題〕

令和4年度の場合、新型コロナウイルス感染症のまん延の影響から、教育実習を含む体験活動に大きな制約があった。これらの制約は、ようやく解消されつつあるが、いまだ確信をもって今後を見通せる情勢ではない。タブレットなどを利用したオンライン授業への習熟などを含めて、これからの教育実習や体験活動の在り方について緊急事態への対応を考えておく必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

- ・ 外部講師一覧
- ・ 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教職論集
- ・ シラバス

### Ⅲ. 総合評価

令和4年度の本学の教職課程を振り返ってみると、まず指摘しなければならないのは、新型コロナウイルス感染症のまん延下においても、ようやく本格的に対面授業が再開されたことであろう。大学もそうであったが、小学校、中学校などでも、マスクをしたままの授業等、正常な学校生活とはいいがたい中での学校生活を強いられていた。4年度は、ようやく従来のような教育実習が実施できたが、それでも一部の教育実習受け入れ先ではさまざまな感染症関連の証明が求められたり、行動制限がかかったりした。しかしながら、まがりなりにも従来のような形で教育実習が実施できたことは、喜ぶべきことであった。

そうした中で本学の教職課程のありようについて、以下のように評価できよう。

第一に、教職をめぐる学生数は、例年と比べて大きな変化は見られなかった。昨今、教職をめぐる報道にはネガティブなものが多い。残業の多さ、離職者や精神を病む人の多さなどが、マスコミで集中豪雨のように流される現状は、教職のイメージを損ねており教職希望者の減少にもつながっている。しかし、それにもかかわらず本学では一定数の学生が教職を希望している。大学としても、こうした学生を大事に育てて行くことが求められている。

第二に、『西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教職論集』を発刊したことである。この『論集』は、研究論文、実践報告、学生の活動報告、教職課程の報告からなり、本学の教職課程のいとなみのなかでなされる教員の研究、教育活動、学生の学修・体験活動などを収録しており、学外への情報発信の役割も持っている。この『論集』の発刊を契機にして、教員の研究・教育、学生の体験活動などがより活発になることが期待される。

第三に、養護教諭、栄養教諭の採用状況が厳しい中であっても、2022年度では9名（私立、既卒者を含む）の養護教諭の合格者を出していることである。英語科教諭についても、4名（既卒者2名を含む）の合格者を出している。

課題としては、教職をめぐるネガティブな報道や風潮の中で、いかに教職の魅力を学生に伝え、また社会の期待に応えられる教師を育てるかがある。とりわけ、人間関係作りを経験する重要な時期がコロナ禍であった学生たちには、それ故の課題も多い。本学の教職課程が「目指す教師像」にある、「豊かな人間性と社会性を持ち、同僚・保護者・地域・各種機関と連携・協働できる教師」の育成が切実な課題となっている。学生が、他者と交わる機会を意図的に増やし、多様なものとの接触から自らを高められるような工夫が必要であろう。

#### IV 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス

2021年10月12日（2021年度第2回教職課程委員会）

自己点検・評価について情報共有

2022年8月

教職課程委員長及び教職事務担当者にて自己点検・評価の内容や項目の検討

2023年3月24日（2022年度第4回教職課程委員会）

自己点検・評価の内容・項目の確認及び承認

2023年5月12日（教職課程委員会 稟議）

自己点検評価報告書 承認

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 西南女学院					
大学・学部名 西南女学院大学 保健福祉学部					
学科・コース名（必要な場合） 看護学科、福祉学科（福祉・養護教諭コース）、栄養学科					
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
① 昨年度卒業者数					243
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					221
③ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					42
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)					17
④のうち、正規採用者数					4
④のうち、臨時的任用者数					13
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他 ( )
教員数	27	11	17	6	

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 西南女学院					
大学・学部名 西南女学院大学 人文学部					
学科・コース名（必要な場合） 英語学科					
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
⑤ 昨年度卒業者数					55
⑥ ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					39
⑦ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					15
⑧ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)					3
④のうち、正規採用者数					2
④のうち、臨時的任用者数					1
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他 ( )
教員数	5	1	2	0	

令和4年5月1日現在

法人名 学校法人 西南女学院					
大学・学部名 西南女学院大学短期大学部					
学科・コース名（必要な場合） 保育科					
1 卒業者数、教員免許状取得者数、教員就職者数等					
⑨ 昨年度卒業者数					74
⑩ ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					63
⑪ ①のうち、教員免許状取得者の実数 (複数免許状取得者も1と数える)					62
⑫ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時的任用の合計数)					20
④のうち、正規採用者数					20
④のうち、臨時的任用者数					0
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他 ( )
教員数	4	7	2	0	